

レポート期間：【2022年1月～12月】



[R4.9.29 EVフォークリフトの導入(パークケミカル部)]

令和5年3月1日

チュモク株式会社

目次

1. 環境経営方針	1
1-1. 基本理念	1
1-2. 行動方針	1
2. 会社概要	2
2-1. 事業所名	2
2-2. 所在地	2
2-3. 事業規模等	2
2-4. 事業内容	2
2-5. 許可内容	4
2-6. 廃棄物処理フロー	6
3. 環境経営システム組織	7
3-1. 実施体制	7
3-2. 役割・責任・権限表	8
3-3. 対象範囲とレポートの対象期間	9
4. 環境経営目標および環境活動計画	10
4-1. 環境負荷の実績	10
4-2. 環境経営目標と実績、評価	11
4-3. 環境活動	12
5. 環境活動計画の取組結果と評価、次年度取組内容	13
5-1. 総合評価	13
6. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無	19
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	20

1. 環境経営方針

1-1. 基本理念

チューモク株式会社は、「木」を通じて社会の皆さまのお役に立つ「循環型木材産業モデル」として、企業活動を通じて、技術的・経営的に可能な限り、「木」資源の有効活用・再利用をはじめ、各種環境負荷の低減活動に取り組み、人と地球にやさしい持続可能な社会づくりに貢献します。

1-2. 行動方針

- ①-0. 環境関連法規の遵守
- ②-1. 環境マネジメントシステムの構築・運用による継続的な環境保全活動の推進
- ②-2. 木屑をはじめ廃棄物の削減・再資源化の推進
- ②-3. 電力・燃料消費による二酸化炭素排出量の削減
- ②-4. 節水と水質汚染の防止
- ②-5. 環境配慮製品（バーク・チップ）の販売促進
- ③-0. 全従業員への環境経営方針・活動の周知と地域社会への公表

制定年月日 平成 22 年 6 月 4 日

改訂年月日 令和 3 年 3 月 1 日

チューモク株式会社

代表取締役社長 西村 元秀

2. 会社概要

2-1. 事業所名

チューモク株式会社 代表取締役社長 西村 元秀

2-2. 所在地

<input type="checkbox"/> 本 社	富山県南砺市田中 793	TEL. 0763-52-2808
	(木材製品部／山林建設工事業部／建築事業部／石油部：福光給油所／総務・経営管理部)	
<input type="checkbox"/> バークケミカル部	富山県南砺市立野原西 375	TEL. 0763-55-1039
<input type="checkbox"/> チップセンター	富山県南砺市土生 736-9	TEL. 0763-55-1770
<input type="checkbox"/> 七尾営業所	石川県七尾市万行町 5 部 129 番地	TEL. 0767-53-2096
<input type="checkbox"/> 川崎営業所	神奈川県川崎市川崎区夜光 1 丁目 7-4	TEL. 044-288-4531
<input type="checkbox"/> プレカット事業部	富山県南砺市前田 161-1	TEL. 0763-23-1323
<input type="checkbox"/> 高岡営業所	富山県高岡市赤祖父 410	TEL. 0766-22-9791
	ジュートピア富山展示場 富山県富山市西荒屋 236	TEL. 076-481-6154
<input type="checkbox"/> 石油部：パイパス給油所	富山県南砺市神田町 197-1	TEL. 0763-52-2817
<input type="checkbox"/> ゴルフセンター	富山県南砺市川西 1535	TEL. 0763-52-4184
<input type="checkbox"/> 開発倉庫	富山県南砺市開発 6	

2-3. 事業規模等

創 立	昭和 22 年 2 月 14 日	
資 本 金	84,700 千円	
従 業 員 数	120 名 (令和 4 年 12 月 31 日)	
売 上 高	5,359 百万円 (令和 4 年 1 月～12 月期)	
敷 地 面 積	131,019m ²	
廃棄物処理実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 産業廃棄物： 10,392.39 トン ・ 一般廃棄物： 3,937.21 トン (期間：令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月)	※バークケミカル部 (廃棄物処理業)

2-4. 事業内容

バーク・チップ製造業／内外材の売買／製材業／総合建設業／住宅・不動産・建材品の売買／プレカット加工／山林売買及び伐出／索道工事／石油業／ゴルフ練習場

【部門別事業概要】

EA21 登録年度	部門	従業員	所在地		事業概要	開設年等
			本社	出先		
平成23年度	バークケミカル部	8		○	・樹皮（バーク）等を再利用し、発酵・熟成させバーク堆肥を製造。商社等を通じて、工事現場等へ納材。	H2. 11
	チップセンター	5		○	・間伐材などの木資源を破碎し木材チップを製造し、パルプ原料として製紙工場へ出荷。	S60. 12
	七尾営業所	1		○	・バークケミカル部の石川地区における営業拠点	H19
平成24年度	外材部	2	○	○	・ロシア材や北欧材、米材など外材の輸入販売卸し業務。富山では主に原木、川崎では主に製品を取り扱う。	S37. 2
	木材製品部	15	○		・住宅資材となる丸太等の製材、木製造作材の加工・仕上げ、下地材の納材等。近隣住宅メーカーや工務店等へ納材。	S22. 2
	プレカット事業部	22		○	・木造住宅等の構造材軸組（柱・土台・梁桁等）を CAD/CAM システムでマシン加工。近隣住宅メーカーや工務店等へ納材。	H13
	石油部	11	○	○	・ガソリンスタンド。石油製品の販売、オイル・タイヤ交換等の整備。福光給油所とバイパス給油所の 2 箇所営業。	S38. 11
	ゴルフセンター	4		○	・ゴルフ練習場（打ちっ放し）。	S47. 7
	本社	10	○		・総務経理担当部門。 (総務部：エコアクション事務局)	S22. 2
平成25年度	山林建設工事部	14	○		・山林の伐採や索道工事等の現場作業に従事（下請け工事）。現場は、近隣のほか東海・東北などの現場従事が主。	S22. 2
	建築事業部	28	○	○	・注文住宅の設計・施工・販売や不動産仲介に従事。住宅建築は、自社加工・販売・施工体制により展開。	S24. 3
	計	120	—	—		

2-5. 許可内容

①産業廃棄物処分業許可（富山県）…【パークケミカル部】

許可番号	01622073911
許可の年月日	令和2年12月6日
許可の有効年月日	令和7年12月5日

1. 事業の範囲

事業の区分	中間処理 破砕、堆肥化
産業廃棄物の種類	(破 砕) 木くず (以上1種類) (堆肥化) 木くず (以上1種類) (特別管理産業廃棄物であるものを除く)

2. 事業の用に供するすべての施設

施設の種類の	設置場所	設置年月日	処理能力	許可（届出）年月日
破砕施設	南砺市立野原西 375 番地	平成 12 年 10 月 15 日	16t/日 (8 時間)	平成 13 年 3 月 19 日
破砕施設	南砺市立野原西 375 番地	平成 8 年 12 月 10 日	80t/日 (8 時間)	平成 13 年 3 月 19 日
破砕施設	南砺市立野原西 375 番地	平成 6 年 1 月 10 日	51t/日 (8 時間)	令和 3 年 2 月 8 日
堆肥化施設	南砺市立野原西 375 番地	平成 6 年 1 月 10 日	70t/日 (24 時間)	—

3. 許可の条件 : なし

4. 許可の更新又は変更の状況

- 平成 12 年 12 月 6 日 中間処理 【新規許可】 許可番号 1 6 2 2 0 7 3 9 1 1
- 平成 17 年 12 月 6 日 中間処理 【更新許可】 許可番号 1 6 2 7 0 7 3 9 1 1
- 平成 22 年 12 月 6 日 中間処理 【更新許可】 許可番号 0 1 6 2 2 0 7 3 9 1 1
- 平成 27 年 12 月 6 日 中間処理 【更新許可】 許可番号 0 1 6 2 7 0 7 3 9 1 1

②一般廃棄物収集運搬処分業許可（南砺市）…【パークケミカル部】

許可番号	南砺市指令生活環境第 1224 号
1. 許可する種類	一般廃棄物処分業
2. 廃棄物の種類	可燃ごみ（木くず）
3. 許可期間	令和 4 年 7 月 1 日から令和 6 年 6 月 30 日まで
4. 許可条件	1) 処分できる一般廃棄物は可燃ごみ（木くず）とし、事業の用に供する施設限定とする。 2) 申請した事業計画に基づき、実施すること。 3) 申請書の記載事項に変更があった場合には、速やかに届け出ること。 4) 毎月の収集数量及び受け入れ先別一覧表を作成し、翌月に報告すること。 5) 業務を行うにあたっては、関係法令（条例を含む）を遵守すること。 6) 南砺市一般廃棄物処理計画が策定または変更された場合には、その内容を遵守しそれに従うこと。

③富山県木材業者登録（富山県木材組合連合会）…【木材関連部門】

登録番号	富山県木連（富）05-126号
登録年月日	令和5年3月1日
業種業態	登録規程 第2条 第1項 第1・2・3・4・5・6・7・8・10・11号
有効期限	令和7年2月28日

④特定建設業許可（富山県）…【建築事業部】

許可番号	富山県知事 許可（特-4）第10172号	
許可年月日	令和4年6月15日	
許可の有効期間	令和4年7月5日から令和9年7月4日まで	
建設業の種類	土木工事業	建築工事業
	大工工事業	とび・土工工事業
	鉄鋼造物工事業	防水工事業
	内装仕上工事業	造園工事業
	建具工事業	解体工事業

⑤建築士事務所登録…【建築事業部】

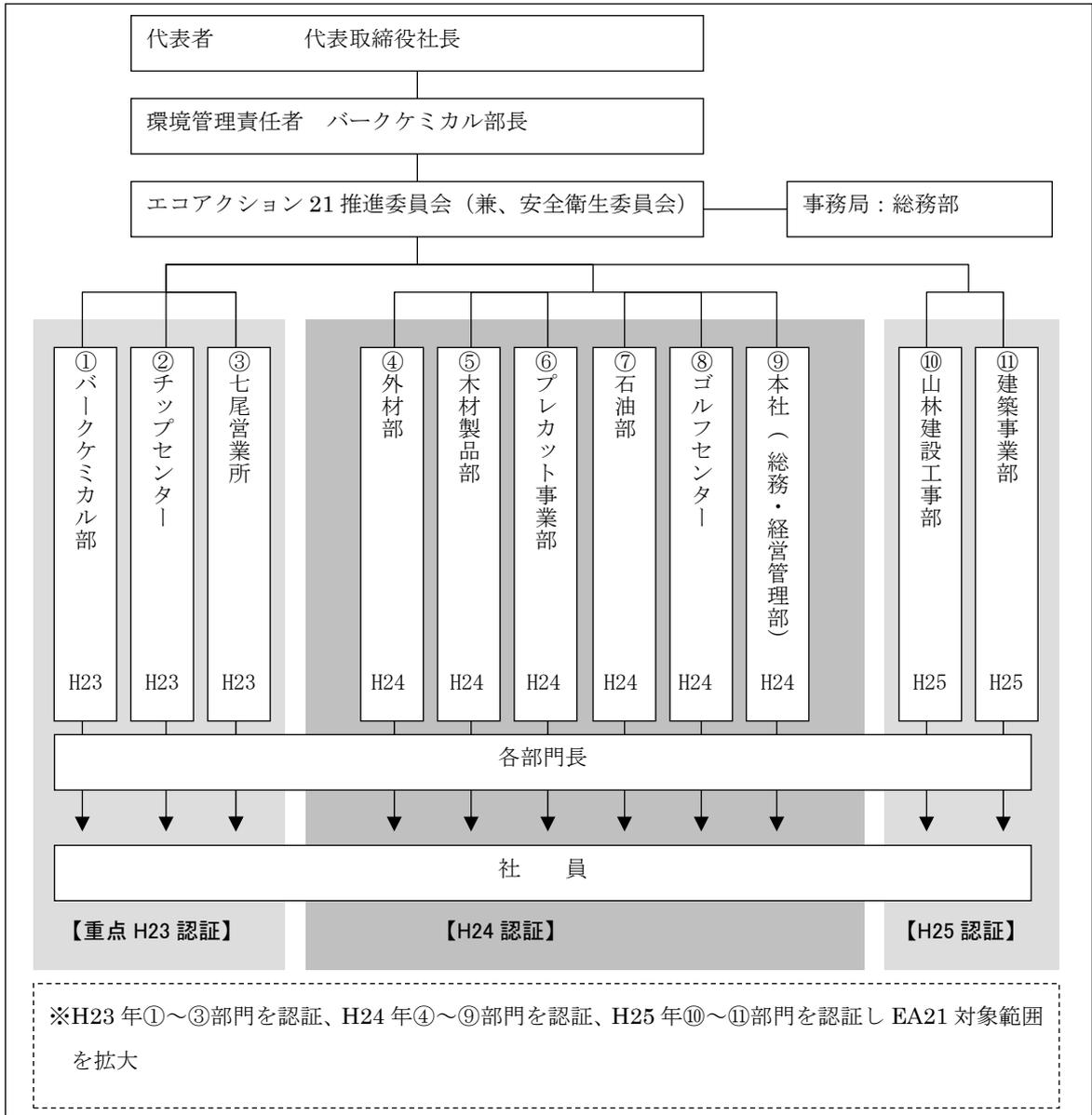
登録番号	一級 富山県知事登録 第(14)22号
事務所名称	チューモク株式会社 一級建築士事務所
更新年月日	令和4年2月24日
登録有効期間	令和4年2月24日 ～ 令和9年2月23日

⑥宅地建物取引業者（富山県）…【建築事業部】

免許証番号	富山県知事 (13) 第375号
許可の有効期間	令和5年1月20日から令和10年1月19日まで

3. 環境経営システム組織

3-1. 実施体制



3-2. 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成、実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施と環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された環境関連緊急事態への対応、訓練実施、記録作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3-3. 対象範囲とレポートの対象期間

1) 対象範囲

- ・令和4年度、全社部門を対象に活動実施。

【平成23年度エコアクション21取組対象 (H23 認証)】

	部門	所在地	従業員数
①	パークケミカル部	富山県南砺市立野原西 375	8名
②	チップセンター	富山県南砺市土生 736-9	5名
③	七尾営業所	石川県七尾市万行町 5 部 129 番地	1名
計			14名

【平成24年度エコアクション21取組拡大対象 (H24 認証)】

	部門	所在地	従業員数
④	外材部：本社外材 ：川崎営業所	富山県南砺市田中 793 神奈川県川崎市川崎区夜光 1 丁目 7-4	2名
⑤	木材製品部	富山県南砺市田中 793	15名
⑥	プレカット事業部	富山県南砺市前田 161-1	22名
⑦	石油部：福光給油所 ：バイパス給油所	富山県南砺市田中 793 富山県南砺市福光 197-1	11名
⑧	ゴルフセンター	富山県南砺市川西 1535	4名
⑨	本社（総務・経理）	富山県南砺市田中 793	10名
計			64名

【平成25年度エコアクション21取組拡大対象 (H25 認証)】

	部門	所在地	従業員数
⑩	山林建設工事部	富山県南砺市田中 793	14名
⑪	建築事業部	富山県南砺市田中 793	28名
計			42名

合計 120 名

2) レポート対象期間

- ・令和4年1月～令和4年12月

(会社決算期間と合わせ各年度1月～12月の期間を基準とする)

4. 環境経営目標および環境活動計画

4-1. 環境負荷の実績

		単位	R1	R2	R3	R4	
二酸化炭素 排出量	購入電力	Kwh	1,580,497	1,447,684	1,562,798	1,546,885	
		kg-CO2	758,639	694,888	750,143	742,505	
	化石 燃料	灯油	L	43,051	37,282	44,638	67,997
			kg-CO2	107,280	92,832	111,149	169,313
		LPG	Kg	245	247	196	172
			kg-CO2	687	740	589	515
		ガソリン	L	54,301	52,809	48,611	49,582
			kg-CO2	126,069	122,516	112,779	115,029
	軽油	L	133,211	171,688	176,751	196,967	
		kg-CO2	343,684	442,955	456,017	508,174	
計		kg-CO2	1,434,349	1,379,990	1,430,677	1,535,536	
水使用量（上水道）		m3	1,425	1,218	1,354	2,699	
廃棄物等 排出量	コピー用紙		kg	1,076	921	1,065	915
	廃プラ		kg	2,217	1,590	2,375	1,475
	建設 廃材	コン塊	t	658	211	189	164
		As塊	t	25	0	0	0
		木くず	t	580	179	257	231
		混合	t	23	25	31	10
		がれき	t	10	13	82	105
		廃プラ	t	97	58	61	54
		金属くず	t	34	24	12	8
		紙くず	t	11	6	11	18
		繊維くず	t	7	1	1	3
		その他がれき	t	665	59	22	77
		廃石膏ボード	t	57	81	89	0
排水量		m3	2,345	1,996	2,078	1,967	
パーク受入・再資源化率		%	100	100	100	100	
パーク資源製品生産量		t	10,569	16,356	15,122	20,344	
木資源リサイクル率		%	100	100	100	100	
チップ製品生産量		t	10,021	9,176	9,184	9,270	

※購入電力排出調整係数：0.480（北陸電力㈱R5.1.24公表値）

4-2. 環境経営目標と実績、評価

	項目	単位	基準年 2021	区分	目標				評価 2022
					2022	2023	2024	2025	
① 排出量 二酸化炭素	①-1. 電力使用量の削減	kg-CO2	750,143	目標	742,642	735,215	727,863	720,584	○
				(割合)	(-1%)	(-1%)	(-1%)	(-1%)	
				実績	742,505	-	-	-	
	①-2. 化石燃料使用量の削減	kg-CO2	680,534.5	目標	673,729	666,992	660,322	653,719	△
				(割合)	(-1%)	(-1%)	(-1%)	(-1%)	
				実績	793,031	-	-	-	
	①-3. エコドライブ（社有車）の推進…【ガソリン】	km/L	13.7	目標	13.7	13.7	13.7	13.7	○
				(割合)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	
実績				13.7	-	-	-		
①-3. エコドライブ（社有車）の推進…【軽油】	km/L	7.3	目標	7.3	7.3	7.3	7.3	△	
			(割合)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)		
			実績	6.6	-	-	-		
② 排出量 廃棄物	②-1. コピー用紙使用量の減量化	kg	1,065	目標	1,065	1,065	1,065	1,065	○
				(割合)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	
				実績	915	-	-	-	
	②-2. 廃プラスチック（堆肥用ポリ袋）の削減	kg	2,375	目標	2,375	2,375	2,375	2,375	○
				(割合)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	
				実績	1,475	-	-	-	
	②-3. バーク受入・再資源化の推進	%	100	目標	100	100	100	100	○
				(割合)	-	-	-	-	
				実績	100	-	-	-	
	②-4. 全社木くずの全量リサイクルの維持	%	100	目標	100	100	100	100	○
(割合)				-	-	-	-		
実績				100	-	-	-		
②-5. 産業廃棄物（建設廃材）の再資源化	%	100	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	○	
			(割合)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)		
			実績	100.0	-	-	-		
③ 使用等 水	③-1. 水道水の削減	m3	R4:1,354 R5~以降 1,244	目標	1,354	1,244	1,244	1,244	×
				(割合)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	
				実績	2,699	-	-	-	
	③-2. 化学的物質使用量を可能な限り削減	Kg	28,128	目標	28,128	28,128	28,128	28,128	○
(割合)				(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)		
実績				24,283	-	-	-		
④-1. バイオマスオイルの利用推進（伐採チェーンソー）	-	利用維持	目標	利用維持	利用維持	利用維持	利用維持	○	
			(割合)	-	-	-	-		
			実績	利用	-	-	-		
⑤ 製品 環境	⑤-1. バーク資源製品の販売促進…【現状維持】	t	15,122	目標	15,122	15,122	15,122	15,122	○
				(割合)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	
				実績	20,344	-	-	-	
	⑤-2. チップ資源製品の販売促進…【現状維持】	t	9,184	目標	9,184	9,184	9,184	9,184	○
				(割合)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	(+0%)	
				実績	9,270	-	-	-	
⑤-3. 省エネ住宅資材の設計提案	-	全数提案	目標	全数提案	全数提案	全数提案	全数提案	○	
			(割合)	-	-	-	-		
			実績	100%	-	-	-		

※購入電力排出調整後係数：0.480（北陸電力株R5.1.24公表値）

評価…「○」：概ね達成、「△」：目標値との乖離20%未満、「×」：目標・改善未達

※「7 代表者による全体評価と見直しの結果」に記載のとおり、「③-1 水道水の削減」については、令和5年度よりバークケミカル部の数値を抜いた値を目標とする。

4-3. 環境活動

区分	目標	活動
① 二酸化炭素排出量削減	①-1. 電力使用量の削減	○省エネ目標の設定 節電運転の展開、待機運転、無負荷運転、過負荷運転の排除 スクリーン、ハンマーの細かな整備・交換 温度設定の適正化（冷房 28℃・暖房 20℃…※体感設定） 不要照明の消灯（昼休み等）、間引き、LED 化 エアコンの控えめ使用
	①-2. 化石燃料使用量の削減	○重機・自動車燃費向上目標の設定 重機・運搬車両アイドリング 5 分以上禁止 適正な空気圧点検、急加速・過負荷の抑制、始業前点検の励行 ○機械、浄水設備の適正利用 ○ストーブ、ガスコンロ、給湯器の適正利用
	①-3. エコドライブの推進（社有車）	○燃費現状の認識 ガソリン車：13.7km/ℓ（R3 基準年全社） 軽油車：7.3km/ℓ（R3 基準年全社） ○走行状況の定期記録・点検チェック アイドリングストップ、急発進・急停止の禁止 タイヤ空気圧の適正化、不要物の積載抑制 低燃費車両への更新検討（逐次）
② 廃棄物排出量削減	②-1. コピー用紙使用量の減量化	○減量化目標の設定、ミスコピーの防止、裏紙の利用促進 ペーパーレス化検討（回覧等）、コピー用紙使用量の継続把握
	②-2. 廃プラスチック（堆肥用ポリ袋）の削減	○リサイクル先の開拓 資材購入時の包装の見直し（ポリ袋→フレコン）、分別の徹底
	②-3. バーク受入・再資源化の推進	○バーク資材の適正処理 受入・再資源化 100%の維持
	②-4. 全社木くずの全量リサイクルの維持	○歩留まり向上による廃棄物の削減（再資源化） 木くずは、全量社内でリサイクル処理、分別の徹底 混入物排除の業者指導
	②-5. 産業廃棄物（建設廃材）の再資源化	○建設廃材の処理徹底、現場廃材の適正管理 優良産廃処理業者への優先委託、業者研修での指導
③ 水使用量等	③-1. 水道水の削減	○水道水削減目標の設定 節水呼びかけ
	③-2. 化学的物質使用量を可能な限り削減	○浄化設備の適正管理、薬品濃度の適正管理 （バークケミカル部）
④ 環境配慮資材購入	④-1. バイオマスオイルの利用推進	○伐採チェーンソーでの適正利用 バイオマスオイルの確保、製品性能・利用認識
⑤ 環境配慮製品販売	⑤-1. バーク資源製品の販売促進	○肥料製品の販売促進、バイオマス燃料の販売促進 製品販売先の開拓
	⑤-2. チップ資源製品の販売促進	○チップ製品の販売促進 製品販売先の開拓
	⑤-3. 省エネ住宅資材の提案	○節水型商品、高気密・高断熱仕様、環境に優しい資材、 省エネ住宅・ゼロエネ住宅の説明・提案 （太陽光発電、エネファーム、エコキュート、エコワンなど）

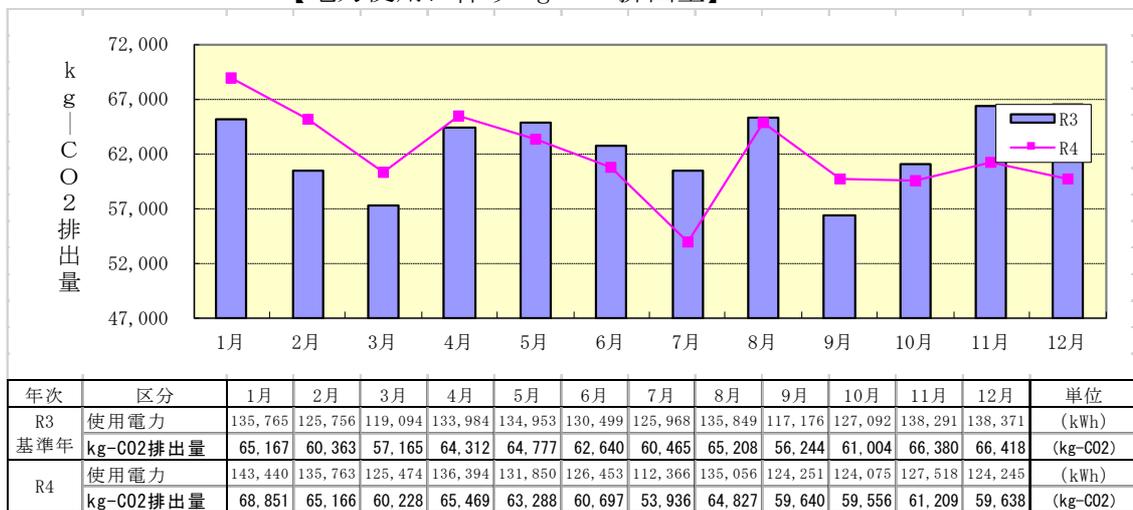
5. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

5-1. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容…【総合評価】

①-1. 電力使用量の削減

- ・前年比1%の使用量を削減した。
- ・パークケミカル部において破砕量が増加したことで電力消費が前年度より増加。
- ・一方でウッドショックの落ち着きによる木材需要が低下し建築事業部ならびにプレカット事業部の業務量が減ったことで電力使用量減となった。環境面では良い結果だが、経営面では厳しい結果となった。
- ・電力使用量は減ったものの電気料金は右肩上がりであったため、無駄な電気の使用がないか注視すると共に節電を推進していく。

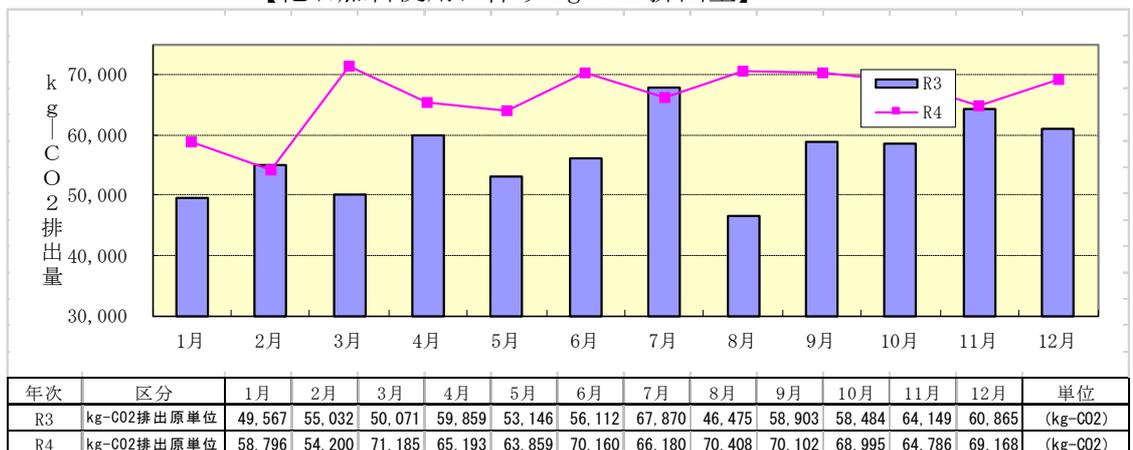
【電力使用に伴う kg-CO2 排出量】



①-2. 化石燃料使用量の削減

- ・前年比18%使用量が増加した。
- ・主な要因は木材製品部の木材乾燥機増設による灯油使用量増、パークケミカル部の木材破砕量増による軽油使用量増により、年間を通して未達という結果となった。
- ・設備投資および生産量の増加に伴う化石燃料使用量の増加が要因であったことから、引き続き受注量と工場稼働の適正維持に取り組む。

【化石燃料使用に伴う kg-CO2 排出量】



①-3. エコドライブの推進

- ・ガソリン車は前年同等、ディーゼル車は前年比 0.7km/L となり、ディーゼル車のみ燃費が下回った。
- ・認証当時からエコドライブに取り組み、今は月次車両点検リストを用いたチェックによりエコ運転を継続する。
- ・引き続き資材配送分野において、社内関連部門の配送集約などを調整検討し、効率的な配車体制の試行に取り組んでいく。

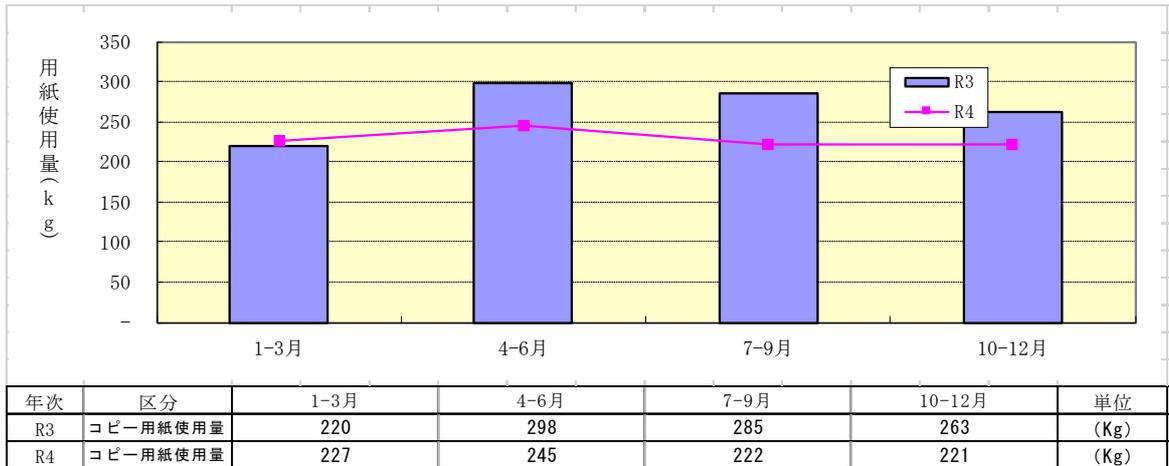
【参考. 社有車燃費の年間推移】

車両区分	H29	H30	H31	R2	R3	R4	単位
ガソリン車	13.7	13.8	13.8	13.8	13.7	13.7	(km/L)
ディーゼル車	8.4	8.0	7.3	7.5	7.3	6.6	(km/L)

②-1. コピー用紙使用量の減量化

- ・前年比 14.1%使用量減となった。
- ・使用量減となった要因はウッドショックが落ち着いたことで、プレカット事業部、ならびに建築事業部の仕事量が減り、印刷量減に繋がった。環境面では良いものの、経営面では厳しい結果であった。
- ・適正な受注量の確保をしつつ、コピー用紙の適正利用に努める。

【参考. コピー用紙使用量の年間推移】



②-2. 廃プラスチック (堆肥ポリ袋) の削減

- ・廃プラスチック (堆肥ポリ袋) は前年比 900Kg 減となった。
- ・年間処分料は削減されており良好、過剰包装などの排除、分別の徹底を継続する。

②-3. バーク受入・再資源化、②-4. 全社木くずの全量リサイクルの維持

- ・木の伐採から製材、加工、販売、そして木くず資源の活用に至るまで、「木」を総合的に利活用していく企業として、当社チューモクでは樹皮などの木くずをリサイクルしたバーク堆肥や木くず燃料の製造をはじめ、間伐材や短木等を資源活用したチップ製造に取り組んでいる。
- ・「木」資源の有効活用の視点からも、今後とも間伐材等のチップ資源としての受入れやバーク堆肥としてのリサイクルを継続していく。

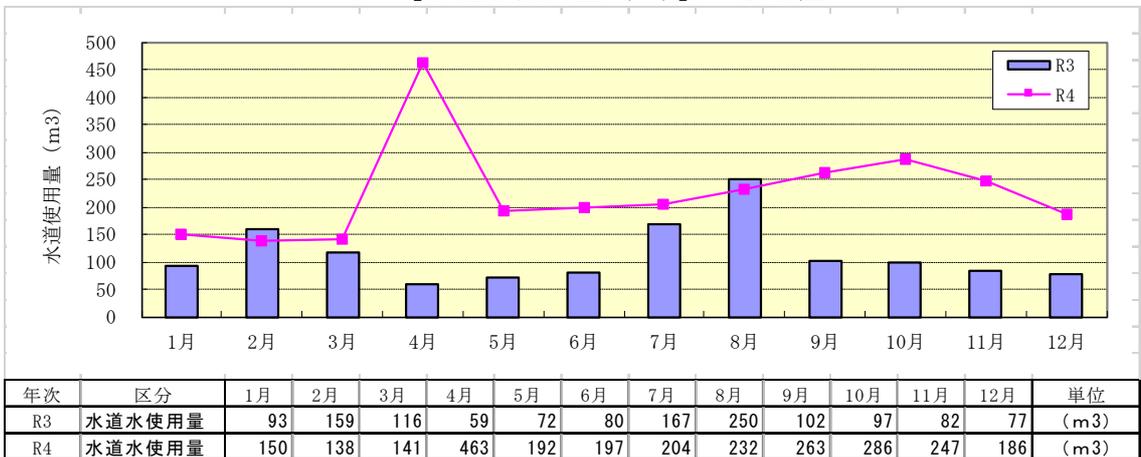
②-5. 産業廃棄物（建設廃材）の再資源化

- ・産業廃棄物の再資源率 100%を継続。
- ・狭小な敷地条件やリフォーム需要の増加などにより、回収用のコンテナを複数基設置できないなど、現場諸条件による廃材回収の制約があるものの、引き続き業者研修会や処理委託業者と連携し建設廃材の再資源化に努める。

③-1. 水道水の削減

- ・前年比 99%増という結果となった。
- ・パークケミカル部において、地下水の水質問題により浄化槽へ水道水の供給を行う必要が出たことで使用量が大幅に増加した。しかしながら浄化槽維持の観点から必要な水利用であると判断している。
- ・その他部門では漏水や異常な数値など発生しておらず、引き続き適切な水道水の利用を推進し、削減に取り組む。

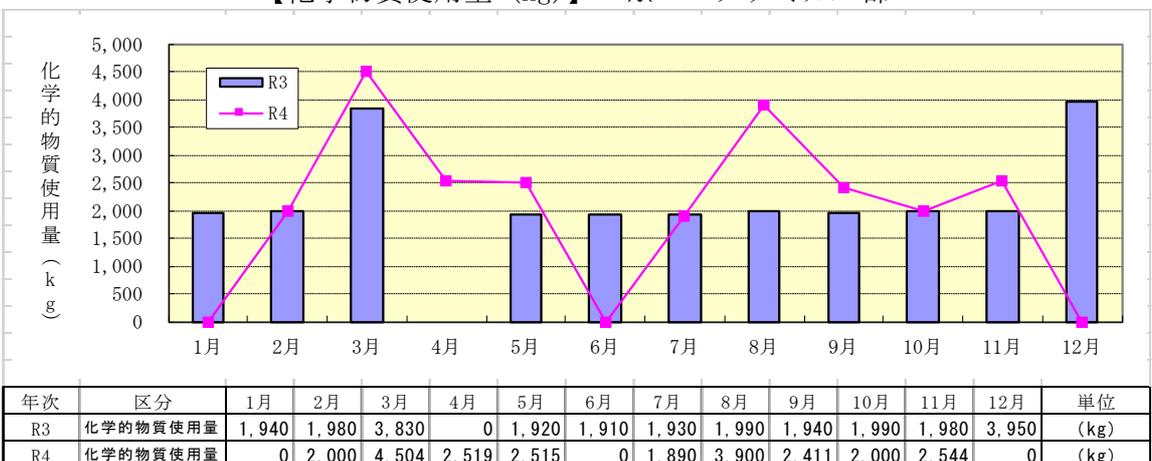
【水道水使用量 (m³)】 …※全社



③-2. 化学的物質使用量を可能な限り削減

- ・前年比 14%の使用量減となった。
- ・使用量は毎年上下するものの、水質の保全が第一であり、使用量の多少の増減にとらわれず、設備の保守管理に注力して行く。

【化学物質使用量 (kg)】 …※パークケミカル部



④-1. バイオマスオイルの利用推進

- ・山林伐採におけるチェーンソー利用において、オイル使用に伴う鉱物系オイルの地中への浸透影響の防止などの観点から、現場特性などに配慮しバイオマスオイルの利用を推進している。
- ・今後とも、当該オイルをはじめできる限り環境に優しい資材利用を推進していく。

森林にやさしいチェーンソー専用オイル

服についた油汚れが洗剤で落とせます。

抜群のスベリでチェンやバーの摩耗を防ぎます。



環境中で分解しやすいオイル
生分解度28日で60%以上
(OECD301C試験による)

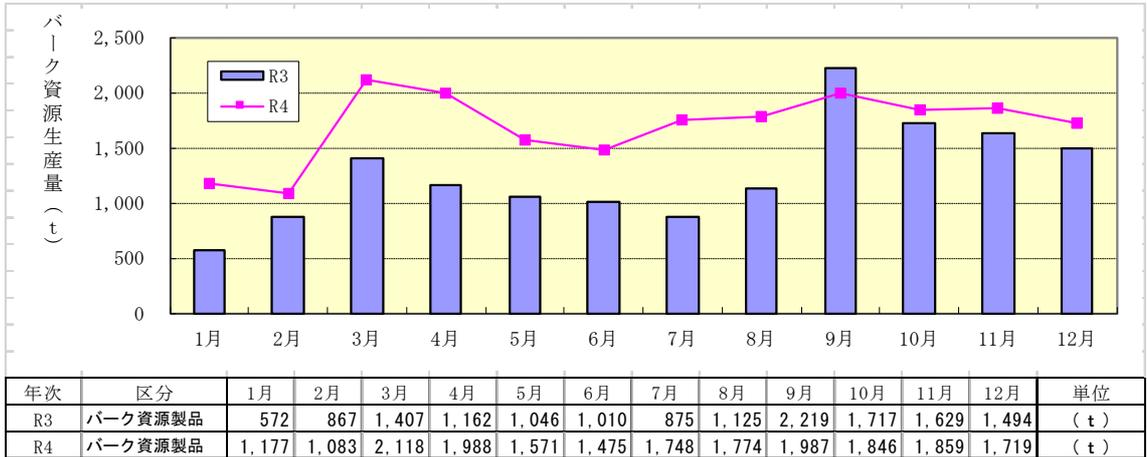
エコマーク認定番号
第04110009号



⑤-1. バーク資源製品

- ・前年比 26%増でバーク資源製品を出荷することができた。
- ・バーク堆肥、ならびに木質燃料ともに良好な結果であった。
- ・畜産、農場、工事、燃料を問わず出荷先と出荷量の拡大に努める。特にバイオマス燃料の出荷先確保に注力する。

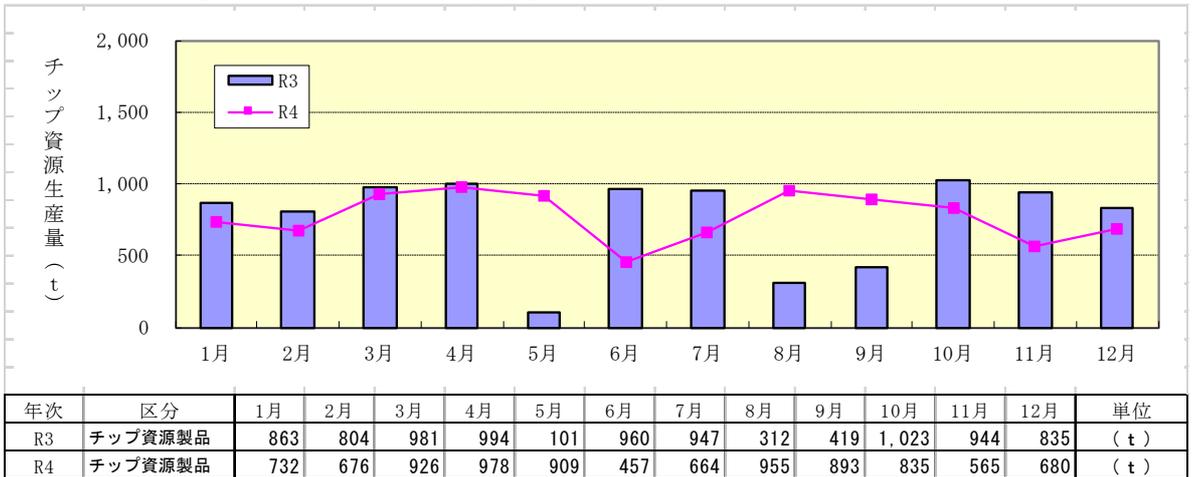
【バーク資源生産量 (t)】 …※バークケミカル部



⑤-2 チップ資源製品の販売促進

- ・受入れ制限や生産調整によって生産量が減ってはいたが、累計では目標を達成。
- ・原料となる丸太の確保が課題であり、納品先との値上げ交渉などで買い入れ価格の引き上げも視野に集荷に注力する。

【チップ資源生産量 (t)】 …※チップセンター



⑤-3. 省エネ住宅の設計提案

- ・次世代省エネ基準に合わせた断熱等級サッシや高断熱仕様、節水型トイレなど省エネ住宅資材の積極的な提案をはじめ、ゼロエネ住宅 (ZEH) や長期優良住宅、県産材の活用(地産地消)などの設計提案を引き続き継続していく。
- ・なお、競争の激化する住宅業界において、太陽光一体型屋根、制震ダンパーなど、新たな環境配慮製品の性能やメリットなどを研究し、環境ニーズや消費者ニーズなど時代の流れに応じた新仕様を積極的に提案していく。

■EV フォークリフトの導入

- ・パークケミカル部

納入日：令和4年9月29日(木)
(パークケミカル部)

概要：エンジン式フォークリフトに匹敵する走行性能・走破性を持ったEV フォークリフト。

ディーゼルエンジン式に比べて電動式フォークリフトのCO2排出量は約 1/3。稼働現場で排出ガスを発生させないので、現場環境の改善につながる。



■チューモクの森づくり

- ・チューモクの森づくり 2022

納入日：令和5年5月28日(土)

概要：37名の社員が集い、チューモクの森づくりを実施。

晴れと天気にも恵まれ、気温も25度程度と心地よく下草刈を中心に作業を行った。



6. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況を確認の結果、違反はありませんでした。また、訴訟等もなく、引き続き関係法規の遵守、地域環境との共生に努める。

6-1. 環境関連法規など実施状況表

分野	法令等の名称	条項等	適用される要求事項	実施状況
大気	○フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	第16～26条	■簡易点検の実施	○
水質	○水質汚濁防止法／排水基準を定める省令 ○浄化槽法	(第2条)	■水質基準の遵守 ■貯油施設の事故時の報告 ■特定施設	○ ○ ○
		第5条	■設置または変更時の届出	○
		第8～10条 第11条	■保守点検 ■定期検査	○ ○
騒音	○騒音規制法	第5条	■特定工場、特定施設を設置している事業所は規制基準を遵守	○
		第6条	■特定施設（施行令別表第1）の届出	○
		第8～10条	■特定施設の変更届（騒音が増加しない場合はこの限りではない）	○
廃棄物・リサイクル	○廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	第7条	■一般廃棄物処理業者は市町村長の許可が必要	○
			■一般廃棄物処理業者は2年以内の更新が必要	○
			■一般廃棄物処理施設設置時の都道府県知事許可	○
		第14条	■産業廃棄物処理業者は都道府県知事の許可が必要	○
		第15条	■産業廃棄物処理業者は5年以内の更新が必要	○
			■産業廃棄物処理施設設置の都道府県知事許可	○
第12条	■保管基準の遵守（表示、衛生管理等）：表示：60cm角以上、種類、氏名・連絡先	○		
	■許可業者に委託（産廃は契約） ■多量排出事業者の削減計画提出・報告 ■産業廃棄物管理表交付等状況報告書の提出	○ ○ ○		
化学物質	○特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法）	第2条	■特定化学物質（質量1トン以上、従業員21名以上）	○
その他	○消防法 ○危険物の規制に関する政令	第31条の4	■消防用設備等の点検と報告	○
		第10条	■少量危険物の貯蔵及び取扱い（200ℓ以上）	○
		第11条	■危険物施設の設置等の許可	○
		第13条の2	■危険物保安監督者の届出	○
		第14条の3	■定期点検の実施	○
第16条	■危険物災害時応急措置、通報義務	○		
協定	○放流水の水質検査結果の報告	(協定)	■水質検査結果	○

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・平成 23 年より重点 3 部門を中心にエコアクション 21 の活動をスタートし、今では全社に拡大し今年度令和 4 年で 12 年が経過した。
- ・昨年はウッドショックの恩恵を受け、木材需要が高まったことで受注量が増加し、良い結果で終わることが出来た。
- ・今年はウッドショックの落ち着きにより、木材価格の下落や住宅の買い控えなどによりプレカット事業部や建築事業部において安定した受注の確保が出来ず、経営面では厳しい結果となった。
- ・来年はその他部門においても厳しい状況になると想定され、適正受注量の確保による工場生産の安定化、住宅販売に対する受注確保に取り組んでいく。引き続き、経営指標とともに、経年的な環境データを把握し、業績改善に活かしていきたい。
- ・日常的な環境活動のほか、令和 4 年度の当社環境活動の重点成果として以下の活動が挙げられる。
 - ① バークケミカル部 EV フォークリフトの導入
 - ② 本社 4 階会議室の照明を LED 切替え
 - ③ Web 会議の推進【令和 2 年から継続】

この様に、今後とも日常の業務や生産活動における環境負荷軽減の活動を継続するほか、環境面での重点活動を取り入れるなど当社の特徴を活かした環境活動の展開を工夫していきたい。

- ・また、来年度以降の「水道水の削減」において、バークケミカル部は設備を含めた見直し・調整を行っている為、使用状況が安定するまではバークケミカル部を目標の評価対象から外す。
- ・今後とも、山林の伐採・流通から製材・加工、木くず等の有効活用・リサイクルによる木材資源の自然への還元に至る循環型の木材事業展開、そして環境に優しい家づくり（社会資本ストックづくり）に至るまで、当社の事業活動の継続自体が持続可能な環境形成に大きく資するという誇りと責任感をもって事業に取り組みたい。自然環境の恵みである「木」の総合活用にこだわる当社チューモクとして、木資源を活かした環境にやさしい企業活動を今後とも推進していく。

令和 5 年 3 月 1 日

チューモク株式会社

代表取締役社長 西村 元秀